



とちぎ農産物マーケティング協会 月刊情報

Vol.211
令和7年4月号

第45回通常総会開催

3月26日(水)、栃木県JAビル（宇都宮市）において、令和7年度の事業計画と収支予算（案）などを審議するため、第45回通常総会を開催し、議事は全て原案通り承認されました。今年度、新たに取り組む主な項目は、以下のとおりです。

- ①「園芸大国とちぎづくり」実践対策
- ② スマート農業団地化の推進
- ③ 県産農産物の利用・消費拡大PR
- ④ とちぎの地産地消推進店と連携した記念キャンペーン
- ⑤ 観光地における県産農産物利活用の推進
- ⑥ イベント等を活用した「とちぎ和牛」PR
- ⑦ いちご主産県連携プロモーション

総会終了後、令和6年度とちぎフレッシュメイトの退任式があり、国府田会長から記念品等が贈られました（但し、現フレッシュメイトの活動は5月末日まで継続となります）。



就任のごあいさつ

理事長 熊田 欽丈

この度、代表理事理事長に就任いたしました熊田です。

本県は、豊富な水や肥沃な土壌などに恵まれ、生産者等の多くの方々の努力により、生産量日本一のいちごをはじめ、米、青果物、牛肉など多彩な農産物が生産されております。

農業を取り巻く社会情勢は日々刻々と変化しておりますが、このような魅力的な県産農産物と大消費地に近いという強みを生かしながら、新たな視点を取り入れつつ、産地づくりの支援・販売戦略等策定支援・県産農産物に関する情報発信・農産物輸出支援などの各種事業の着実な実施により、県産農産物の更なる販売促進及びブランド化等に積極的に取り組んで参ります。

会員をはじめ関係者の皆様にはご協力ご支援をお願いいたしますとともに、皆様方のご発展をお祈り申し上げ、就任のあいさつといたします。



退任のごあいさつ

前理事長 荒井 真一

この度の役員改選で退任いたしました荒井です。

4年間の在任中は、会員をはじめ関係者の皆様にご支援を賜り、誠にありがとうございました。

就任時はコロナ禍の最中でしたが、関係者一丸となって創意工夫を凝らし、動画配信やSNSによる情報発信を活用するなど、県オリジナル品種を中心とする生産振興や地産地消推進店・とちぎの旬彩店・とちぎ和牛提供店をととした利用促進、農産物輸出促進等に取り組むことができました。大変な時期にもかかわらず、ご協力いただいた皆様に、あらためて感謝申し上げます。

結びに、当協会の取組が、更なる県産農産物のブランド化や販路拡大等につながることをご期待申し上げ退任のあいさつといたします。

「ぎゅっと！まるごと栃木食図鑑」（改訂版）の発行について

当協会は、栃木県産農産物の消費拡大及びブランドイメージの向上・販路拡大を図るため、栃木県産農産物の魅力がPR冊子『ぎゅっと！まるごと栃木食図鑑』を10年振りにリニューアルしました。

今後イベント等で配布し、県内外の消費者に対し県産農産物の特徴や美味しさをPRしていきます。



「施設園芸収益力強化スーパーコーチ派遣事業」ワークショップを開催

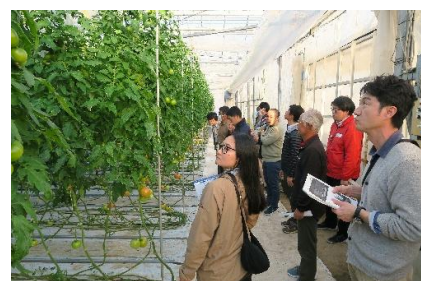
2月27日(木)、当協会は、施設園芸収益力強化スーパーコーチ派遣事業の最終事業としてワークショップを栃木県農業試験場いちご研究所で開催しました。

この事業は、県の委託を受けて1億円プレーヤー農家を育てることを目的に9年間実施し、本年度はトマト7名、いちご6名、バラ7名の計20名の農家が受講しました。

スーパーコーチとの意見交換では、資材導入の際に効果の高い資材や長期に使える資材などの見極めが重要であることや、暑熱対策の簡易外気導入システムはシンプルな割には効果があることなど、様々な観点から積極的な意見交換がなされました。その後、サンファームオオヤマさんのトマトハウスを視察しました。

【アンケート調査における農家の主な意見・感想】

- ・コスト低減など今後の経営に役立つ点が多く、大変勉強になった。売上げ1億円に近づけるよう増収増益を目標として規模拡大などを少しずつ進めていきたい。
- ・課題解決に繋がったことや、新たな課題発見にもなり生産現場の改善に役立った。
- ・マーケティングや財務諸表の活用の仕方などを学ぶ機会となった。コストアップが激しい中ではこのような講座をまた開催してほしい



ミナテラスとちぎ「親子いちごケーキ作り」



3月8日(土)、当協会は、ミナテラスとちぎ「キッチンスタジオ」にて、いちご王国・栃木の協賛事業の一環として、宇都宮短期大学附属高等学校と連携し、県産いちご「とちあいか」を使用した『親子いちごケーキ作り』を開催しました。

県内の親子に対し、県産いちごの消費拡大を図りました。



Farm to Table in Utsunomiya vol.1 ～一人ひとりのテロワール～

3月9日(日)アンジェロコート東京 宇都宮にて、『Farm to Table in Utsunomiya vol.1 ～一人ひとりのテロワール～』が開催されました。

能登、仙台、常陸大宮、宇都宮、いすみ、5カ所から集まったシェフたちが、自分の土台となるテロワールを一皿の料理にして提供しました。「食」で何を実現したいと思っているかを表現しました。

栃木県からは、オトワレストランの音羽明日香さんが、「ミルキーベリー」を使用したデザートを提供しました。

そして輪島からは、輪島塗・漆芸家の赤木明登さんが参加し、震災後の能登で歩んできた道のりとこれからの能登への想いを語ってくださりました。

当協会として、県内外から参加されるお客様に、新鮮なお野菜や加工品を案内し販売PRする場として、マルシェを出店しました。



福助堂「栃木フェア」 in 大阪

3月28日(金)・29日(土)の2日間、当協会はＪＡなすのと連携し、関西圏における県産農産物のメーリアップと消費拡大を図るため、「那須高原から旬の新鮮野菜」を産地直送でPR販売する「栃木フェア」を、大阪府福助堂で開催しました。

当日は、県産いちご「とちあいか」をはじめ、「白美人ねぎ」「アスパラガス」「トマト」「春菊」「春香うど」など、まさに今が“旬”の農産物を関西圏で初めてPR販売をしました。

関西では「栃木県産農産物」があまり流通していないため、それが逆にお客様には新鮮に感じられ、購買意欲を高め消費拡大に繋がりました。



とちぎの旬彩店「地鶏やきとりおしどり」で県産農産物PR

とちぎの旬彩店「地鶏やきとりおしどり」は、奈良の天理で9店舗展開しており、全店舗で5ツ星お米マイスター山下氏による県産米「とちぎの星」を使用したブレンド米を提供しています。

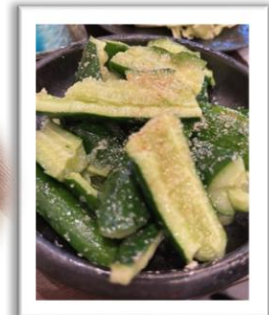
お料理は、鶏料理はもちろん、野菜やラーメンでこだわりが強く、今回期間限定で栃木県産の「トマト」と「きゅうり」を使ったメニューを提供していただきました。

店内には、大きなメニューPOPが掲示され、関西圏のお客様に県産農産物の認知度向上及び美味しさをPR頂きました。

オーナーの奥様の松尾氏は、「“美味しい”はもちろんですが、生産者の人柄がとても素敵で、栃木県産がますます好きになりました。」と話していました。



5ツ星お米マイスター山下氏(左)
地鶏やきとりおしどり(オーナーの奥様)松尾氏(右)



とちぎの花でスマイルアップ in NHK（3月分）

3月は、凛とした大輪の美しさで他の花と組み合わせても主役の存在感を示す輪菊、白・黄・ピンクに加えダークレッドのような多彩な花色や八重咲きなどの花姿で華をもつオリエンタルユリ、白と水色の色合いがやさしく可憐でアレンジメントをぐっと引き立てるデルフィニウム、日持ちがよく様々な花色と咲き方が楽しめ栃木県が生産量全国4位のスプレーマム、4品目の花を紹介しました。



◇ NHK総合テレビ 毎週金曜日 「とちぎ630」（18：30～）



3/7 輪菊
JAなすの菊部会
(大田原市 ほか3市)



3/14 オリエンタルユリ
平出 賢司氏（宇都宮市）



3/21 デルフィニウム
寺内 一雄氏（栃木市）



3/28 スプレーマム
若井田 和明氏（塩谷町）

令和2年5月から毎週金曜日、県産の様々な旬の花をご紹介しますから丸5年になります。おかげ様で、金曜日は花の紹介があることを視聴者の方々にも認知いただくようになりました。視聴者の皆様と紹介の場を提供いただいたNHK宇都宮放送局様に感謝申し上げます。そして、令和7年度も引き続き、県産花きを紹介させていただくことになりました。今年度も毎週金曜日の「とちぎ630」をどうぞお楽しみにご覧ください。

YouTube とちぎフレッシュメイトチャンネルの公開について

「とちぎフレッシュメイトYouTubeチャンネルを公開しました☆
県産花きの素晴らしさを紹介しています！皆様ぜひご覧ください☆」



#33 とちぎの気品を感じる『トルコギキョウ』
4月1日(火)19:00～



とちぎフレッシュメイトチャンネル

<https://youtu.be/AdjrQrDWgHE>

#33 とちぎの感謝の気持ち『カーネーション』
4月4日(金)19:00～



とちぎフレッシュメイトチャンネル

<https://youtu.be/pXOZM21h-WA>

令和7年度「とちぎフレッシュメイト」(24代目)募集

とちぎブランド農産物のイメージアップと消費拡大を図るため、県産農産物のイメージキャラクターとして、令和7年度の24代目『とちぎフレッシュメイト』を募集しています。

県産農産物のイメージキャラクター『とちぎフレッシュメイト』は、県内や県外で行われるイベントなどに参加して、「とちあいか」や「とちぎ和牛」など、たくさんのとちぎの農産物をPR・販売し、とちぎの良さや県産農産物の美味しさなどを消費者の方々に伝える活動をしていただきます。

任 期：令和7年6月1日から令和8年5月31日までの1年間

応募資格：栃木県在住で、18歳から29歳までの健康で明るい方

締 切 日：令和7年5月7日水曜日

❀ とちぎが大好きで、とちぎのために何かしたいと思っている方がいたらどんどん応募ください！

応募フォームはこちら



※応募に関する詳しいお問い合わせは、とちぎ農産物マーケティング協会まで。

とちぎ農産物マーケティング協会 ニューフェイス



事業推進部部長補佐
長谷川 喬

【担当業務】

- ・生産部会活動に関すること（いちご・野菜・特産）
- ・各種グランプリ・共進会に関すること（いちご・トマト・特産）
- ・とちぎブランド推進に関すること
- ・いちご生産連絡協議会に関すること
- ・「とちぎ和牛」に関すること

【コメント】

県産農産物の魅力を更に高められるよう、微力ながら精一杯務めさせていただきますので、皆様ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



事業推進部主任
原 利浩

【担当業務】

- ・生産部会活動に関すること（花き）
- ・共進会等に関すること（花き）
- ・園芸大国とちぎづくりに関すること（アスパラ）
- ・花き振興協議会に関すること
- ・花咲くとちぎ推進協議会に関すること

【コメント】

花き生産者の皆様と力を合わせ、県産花きのPRに積極的に取り組んで参りますのでよろしくお願いいたします。



4月の予定

10日(火) きらきら星（あじさい）目揃え会

（県内）

14日(月) スプレーナム研究会役員会

（JAビル）

一般社団法人 とちぎ農産物マーケティング協会 （令和7年4月発行）
TEL: 028-616-8787 FAX: 028-616-8715
<http://www.tochigipower.com/> ☎「カラダにとちぎ」で検索